# 内地産ハバチ類の二新種

矢　野　宗　幹
佐　藤　覺

MUNEMOTO YANO and KAKU SATO:
Two new species of Chalastogastra from Japan.

## 1. Acantholyda (Acantholyda) nipponica

YANO ET SATO (n. sp.)

ニホンアカヅヒラハバチ

*Acantholyda* (*Acantholyda*) *erythrocephala* LINNAEUS に酷似するも、觸角(基節を除き)暗褐乃至褐色なること、前翅の暗色が線紋より外方に及ばずして外方の透明部との境界判然すること、脚は雌に於て前脚の脛、跗節暗褐にして、雄にては各脚ともに脛、跗節黄褐なること及び腹部の腹面各節後緣に沿ひて明瞭なる點刻を有すること等によりて區別し得べし。

雌。 體長 10.5mm. 觸角長 約 7mm. 前翅長 11mm.

頭部は褐赤色にして黄色を帶び、暗色毛を裝ふ。顔面觸角下方は淡色にしてほぼ黄色をなす。上顎の端半は黑色乃至黑褐、單眼部に於ける小長方形紋は黑色なり。額片弱く屋根狀に隆起し、點刻を粗散す。觸角間隆起は殆んど不明なり。Supraclypeal foveae 及び antennal foveae は相癒合して淺廣なる窩をなす。Frontal crest の隆起は顯著ならず。antennal furrows は殆んど缺き僅かに觸角基根の直上にて細き窩をなす。顔面にて單眼と frontal crest との間に於ける點刻は細密なり。頭頂部は粗なる點刻を散布し點刻間面は光澤强し。單眼後區は側方にて淺き溝によりて區劃せられ、後方に向ひて明かに狹まり、中央に淺き縱溝あり。觸角は基節黑色、第二節以下暗褐色をなし、腹部と略同長にして、三十一節よりなり、第三節は第四、第五及び第六節の合

長に等し。胸部は黑色にして、强き綠色金屬光澤を有す。中胸前楯板 (Mesoprescutum) は僅少の點刻を存するも大部分平滑なり。中胸楯板 (Mesoscutum) は明かなる點刻を有し、その後方に至るに從ひて點刻密となる。中胸小楯板 (Mesoscutellum) は僅かに隆起し、明瞭なる點刻あり。中胸前側板 (Mesoepisternum)の點刻は甚だ密にして相癒合して多少皺狀をなす。中胸腹板は僅少の點刻あるも大部分平滑にして光澤强し。脚は胸部と同色にして前脚の脛節及び跗節は暗褐色をなす。前翅は大部分暗色なれども、徑横脈、第二肘横脈及び第一反上脈より外方は殆んど透明なり。後翅の暗色は稍弱く外端に向ひて漸次に透明となる。緣紋は黑色、脈は暗褐乃至褐色なり。腹部は胸部と同色なれども背面中央の大部分は藍青色をなし、腹面節の後緣中央に微かなる暗褐部あり。背面はほとんど平滑なれども、腹面にては各節の後緣に沿ひて明かなる點刻を有す。

雄, 體長 9.5mm. 觸角長 約 6.5mm. 前翅長 9mm.

頭部は胸部と同色にして、褐赤色ならず。顏面(額片を含み)觸角基根より下方は全く黃色、上顎も亦その先端を除く大部分は黃色なり。觸角は二十九節よりなり鞭節の色は雌に於けるよりも淡色にして褐色をなす。頭頂部の點刻は雌よりも深くして稍密なり。單眼後區はその前方に於ても稍明かに區劃せられ、少しく膨起し中央縱線を缺く。前翅に於ける暗色部と透明部との境界は雌に於けるより一層判然す。脚は腿節端及びその前部の端半、脛節及び跗節の全部黃褐をなす。

產地 。東京 (四月、矢野採集)

竹內吉藏氏が昆蟲世界 Vol. XXVII. No. 11. に於て *Acantholyda erythrocephala* として記述せるものは恐く本種なるべしと思はるるも、その標本を檢するの機會を得ざれば暫く保留し後の機をまつべし。

## 2. Janus kashivorus Yano et Sato (n. sp.)

アカガシクキバチ

本種は *Janus femoratus* Curtis に最も近似のものなるべし。然れども頭部は

全く平滑にして光澤著るしきこと、雌の中胸小楯板の大部分赤褐なること及び雄の後脚脛、跗節の全部黑色なること、等によりて直ちに區別し得べし。觸角の第三節と第四節とが同長なる點に於て此の種は *Janus* 屬の特徴に合致せざる如きも、他の特徴及びその生態に於て明かに該屬に入るべきものなるべし。

雌。體長 9mm. 腹部長 5mm. 産卵器鞘長 1mm, 觸角長約 6mm. 前翅長 8mm.

體は黑色。上顎(黑褐色の先端を除き)、鬚、頭頂部中央後方に於ける短縱線紋前胸背板後緣の兩側、肩板、中胸小楯板の後緣、後胸小楯板(Metascutellum)及び中胸前側板の上前方角の小點は黃色なり。前胸背板側面の大部分及び中胸小楯板の大部分を占むる大紋(その後緣は黃色)は赤褐なり。脚は黃色にして基節の基部、後脛節の端半及び後跗節の全部は黑色なり。各脚の腿節及び前中脚の跗節は少しく赤褐味を現す。殊に後腿節はほぼ赤褐なり。翅は全く透明にして、虹光を放ち、前緣脈及び緣紋は黃褐、他の脈は黑褐なり。

頭部は全く點刻を缺き光澤强し、殊に頭頂部に於て然りとす。上顎は短厚にして先端三叉す。顏面は一樣に膨起し、Antennal foveae は殆んど缺き、前小眼前方に於て縱溝を認め得ず。Supraclypeal foveae は判然す。後單眼距離は單複眼距離と略相等しく、單眼後頭距離の約二分の一なり。觸角は二十三節よりなり。第三節は第四節と等長なり。胸部には黃白の短毛を裝ふ。中胸楯板には細密なる點刻あり。中胸小楯板及び中胸前側板は殆んど平滑なり。第一反上脈は第一肘横脈と相合し、第二反上脈は第二肘横脈の外方にありて第三肘室の基部約四分の一の部に合す。産卵器鞘は細長にして上下兩緣は略平行し、下方に少しく彎曲す。

雄。體長 8mm. 腹部長 5mm. 觸角長 約 5mm. 前翅長 7mm.

頭部に於て頭頂部中央後方の縱線紋を缺く。胸部は前胸背板の後緣(中央にて多少狹窄す)、肩板、中胸楯板兩側に於ける微小紋、中胸小楯板の後緣、後胸小楯板、中胸前側板の上前方角に於ける小紋は黃色なり。雌に於ける中胸小楯板上の大紋は全く缺く。脚の色彩は雌に類するも後脛節は全く黑色な

り。腹部の末端腹面節は黄色なり。

産地、　東京、　(五月、矢野採集)

幼蟲はアカガシ (*Quercus acuta* THUNB.) の新梢を蝕害す。

---

**Acantholyda (Acantholyda) nipponica** YANO ET SATO (n. sp.)

This species is very closely allied to *Acantholyda* (*Acantholyda*) *erythrocephala* LINNAEUS, but is distinguished from that species by the following characters :

1. Antennae (except basal joint) are dark brown (♀) or brown (♂)
2. Fore wings are almost hyaline beyond the interradius, second intercubitus and first recurrent.
3. Anterior tibiae and tarsi of female are blackish brown.
4. All tibiae and tarsi of male yellowish brown.
5. Abdominal sternites with distinct punctures along the apical margin.

Type locality : Tokyo, Japan.

**Janus kashivorus** YANO ET SATO (n. sp.)

This species is closely related to *Janus femoratus* CURTIS, but is separated from the latter and all other species of this genus by the following characters :

1. Third joints of antennae as long as the fourth. (In this character this species does not seem to belong to the genus *Janus* but other characters and habits shaw that this species must belong here)
2. Head impunctate, highly polished.
3. Wings entirely hyaline.
4. Abdomen in female entirely black ; in male except yellow apical sternite also black.
5. In the female most of the mesoscutellum is reddish brown.
6. Legs yellow, extreme bases of coxae, posterior tibiae (in the female the basal half is yellow) and posterior tarsi black, all of femora, anterior and middle tarsi more or less brownish.

Type locality : Tokyo, Japan.

The larvae of this species bore in the young shoots of *Quercus acuta*, THUNB.